



組合員 北山町 466-0006
工業部 昭和三十九年
板報 昭和三十九年
金工 昭和三十九年
板行 昭和三十九年
知古 昭和三十九年
愛発 昭和三十九年
名古 昭和三十九年
3 昭和三十九年
電 昭和三十九年

中部板金工業組合協議会 第21回 通常総会

各県板相互に一層の緊密な連携を確認

中部板金工業組合協議会は（会長・宇野万木男岐阜県板理事長）六月二日、福井県板の会場設定によりJR福井駅近くの「福井厚生年金会館」に於いて「第二十一回・通常総会」を開催した。

総会には太平洋側の四県板と北陸側の三県板から、協議員三十七人はじめ、常任理事・理事・監事二十三人が出席。また来賓には全板連より臼井全板連理事長、関根全板国保専務理事、鈴木年金基金常務理事、篠原全板興業社長の四氏のご臨席された。

午後一時、地元福井県板・千秋副理事長の歓迎と開会の辞に続き、宇野会長は五月二十日に開かれた「全国建築板金業者大会」が好評のうちに開催できた事は、中板協各県板関係者の積極的な取組と協力を謝すと共に、長引く不況

の過剰な値下げ押付けなどには、業界あげて早期に対処して行かなければならない。全板連も関係官庁への働き掛けに努力すると挨拶のあと、五期十年つとめた全板連理事長職を今期で退任を表明され、これまでの協力にお礼を述べられた。

全板国保の関根専務は国保組合の現状と健康管理等の助成金の増額、保険料の据え置きと国保加入者増進を説明。国民年金基金からは老後の生活設計、保険料の損金勘定になるメリットなど一層の加入促進を呼び掛けた。

全板興業・篠原社長からは全板大会に大会費納入して参加した登録参加者は三三七四人で、そのうち中部ブロックからの参加人数は一七五二人で登録全参加者の半数以上であった事が報告された。

またその他の参加者も入ると五千人を上回ったと推計される。総会終了の後、懇親会を開き遠路出席した七県板の仲間同志が杯を挙げ語りあい和やかな雰囲気盛り上がりがあった。愛知県板からは、理事・代議員合わせて八人が出席した。



▲ 中板協総会



▲ 中板協各県板理事長

中板協・活動目標 (S)
(1) 全板連のビジョン実現に向け、その啓蒙普及に努める。
(2) 責任施工制度の引続き普及推進。
(3) 関連行政、関連業界の情報等を収集し、逐一組合員に提供。
(4) 全板国保、全板年金基金への加入促進。
(5) その他当協議会として目的達成のための必要事業。

平成10年度 事業報告書

自平成10年3月1日
至平成11年2月28日

I 概況

不況という言葉さえ聊か食傷した戦後最悪の経済情勢は、数々の不祥事を絡めた金融機関の破綻に続き、政府による多額の公的資金の導入等、建設業界にあっては大手ゼネコンまで相次ぐ倒産、また企業における設備投資の萎縮は無論、深刻なリストラを余儀なく断行するなど、全期を通して、景気回復の一助になるような材料を何一つ見出せないまま一年を経過した。我々建築板金業界としても専ら隠微、個々の自助努力により辛うじて糊口を凌いでいる現況にある。

このような情勢を踏まえながら当協議会では、前年度に引続き全板連指針としての「責任施工制度の更なる普及」を軸に「建築板金業界の社会的地位確立」にいたるビジョン実現に向け、各県板相互に緊密な連携を図ってきた。

なお、当中板協はここに来て創立二十周年の節目を迎えることになり、昨年六月十三日金沢市金沢スカイホテルにおいて記念式典を盛大裡に挙行することができたことを特筆する。

II 協議会構成組合及び組合員数

会員組合名	平10.2.28	平11.2.28	代議員数
静岡県板金工業組合	870	840	8
愛知県板金工業組合	809	802	8
三重県板金工業組合	325	321	3
福井県板金工業組合	359	352	4
石川県板金工業組合	350	338	3
富山県板金工業組合	594	586	6
岐阜県板金工業組合	460	452	5
合計	3,767	3,691	37

永遠と受け継ぐ

献血活動

知多支部は恒例の如く、去る6月3日(木)PM1時30分より、日赤の献血車の到着を待ち、日頃大変お世話になっている、半田市の(株)武豊屋、社長様のご好意により実施された。当日は天候に恵まれ、理解ある参加者も多く、最近特に夫婦同伴の方々も多く、会場に一輪の花が咲いた様な、雰囲気の中で流れ作業は続く。

参加者には洩れなく粗品を用意し一人一人に贈呈、大いに喜ばれ好評を得た。今回の献血提供者は400ccの採血にご協力を頂き、最近では若年層の参加者も目立ち、献血への重要性の認識も深まったような感じを得た。今回の開催も短時間ではあったが、盛況の内に幕を閉じた。次年度も更なる飛躍のもと、永遠に灯を消すことなく、続けて欲しいと願うものである。



沼澤



献血の会場



住宅性能表示

ある日突然十年前に建てた施主から「家が傾いたから無料で建て直せ」と要求されるかもしれない法律が今月の六月十五日、衆議院本会議で可決、成立。一年以内に施行される。法律の名は「住宅品質確保促進法」で3つの項目は「性能表示」「瑕疵保証」とその実行性を確保する意味での「紛争処理」です。

「性能表示(保証)」は任意の制度ですが「瑕疵保証(十年保証)」は義務です。その違いを明確に認識しておく必要があります。「瑕疵保証」は十年で雨漏りも入ります。事故例で一番件数が多いのも雨漏りだそうです。

工務店が意志表示するわけですが、傘下の業者に資格の提示を求めてくるでしょう。ユーザーは「性能表示」できる工務店とできない工務店ではどちらを選ぶかは目にみえている。

民間機関である「指定住宅性能評価機関」が各段階で審査、性能評価を行い、「性能評価書」を発行します。保険により補修費用の八割が出る。

表示住宅は、高性能住宅のお墨付き、紛争処理のアフターサービス付きとなればユーザーが選ばぬわけではない。

大手ハウスメーカーはすでに準備OKと見て良い。今後新聞、雑誌は大いに取り上げるだろう。地場の工務店はよほど勉強しないとついていけない。クレーム対応が遅かったりすこし悪いと裁判になりかねない。

責任保証制度が雨樋は五年、屋根・壁は十年で保険料はそのままに平成十一年四月一日よりなりましたが我々がしなければならぬのはあくまでも技術保証で、製品で十年保証できる物はないと考えて仕事をしたほうがよい。大同鋼板のタイムカラーGL(我社はほとんどこればかり)が保証するのは塗膜保証でナショナルが出した十年保証のサイディングにコーキングはもちろんなタッチアップの補修液も認めていない。皆で知恵を出し合うほかないです。早くしないと時間がない。

今後は図面、写真、作業日報、契約書、保証書等ファイルを作成し十年間保管しなければならぬし変更があれば書面にて確認しあうことや保証できない要望によほど説明できない限りユーザーや工務店は納得しない。大手ハウスメーカーと同じ土俵に上がるには地場の工務店も「住宅性能表示」をしなければ仕事が無くなる訳ですから我々も「どうしたらいい」から「どうにかしなければ」に進むしかない。折りしも六月二十六日の中日新聞の三十五面に愛知・桃山台ニュータウン「地盤沈下四軒建て直し」とある。「住宅性能表示」で契約すれば無条件で建て直さなければならぬ。今回の場合はつきり言えないが「住宅性能表示」契約しても多分、地盤改良不足で工務店の自腹となる可能性が高い。

この法律がいかに「消費者保護」「生産者から消費者へ」と視点に移す。「決められた

とっておきの店 紹介

岩倉 秀太湖

岩倉市を南北に走る名草線(県道63号)沿いに、私の古い友人が経営する、中華料理「秀太湖」がある。生まれは岡崎ですが、豊田、名古屋で修業し、30代半ばで独立、飛鳥村の貸し店舗で店を始めた。屋号「秀太湖」はその時以来の店名である。奥さんは小柄な台湾美人、秀太湖の秀は奥さんの旧姓から付けたそうである。

平成8年3月、ここ岩倉に自分の店としての「秀太湖」をオープンした。色白で五木ひろし似の主人であるが、彼の腕と手は、まさに職人その事を守らせる」というのがわかる。我々が欠陥住宅を買われた人達の悲鳴や何十年と支払うひとたちの声を無視したしつぱ返しかもしれない。

◎「瑕疵」キズ、欠点、法律または当事者の予期するような状態や性質の欠けていること。例えば、他人の詐欺または脅迫によって行われた意思表示を瑕疵ある意思表示という。(広辞苑)より

家は業者が造ってはならない住む人が創るものである。東三 吉田

ものである。何度となく厨房で鍋を振る彼の姿を眼にしてきたが、職人たるコックの素晴らしさに驚かされた。鍋を振る素早さ、調味料を加えるタイミング、年期と勤と彼のもつ器用さが作り出す秀太湖の味。是非、近くへ立ち寄る折りは、一度、御賞味の程を、ギョーザは、まさに絶品、所在地 岩倉市川井町浮田(西側に石塚硝子工場有)

営業 PM5時~AM2時
休日 毎週火曜 第3火、水
TEL 0587 6616333
岡崎 中西

▼新間屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会 会員会社紹介を終えて

始めに訂正とお詫びを申し上げます。第二十六回最終回で(株)吉田商店を紹介したが代表取締役社長の吉田社長顔写真の名前が間違っていたので訂正させていただきます。正しくは「吉田勝彦」氏です。よろしくお願ひ申し上げます。

平成八年八月から日頃私たちが材料の仕入れで大変ご無理を言っている愛知県亜鉛鉄板問屋会会員会社を紹介してきました。連載シリーズで紹介したが、六月号と新年号は総代会と新年挨拶があり紙面が埋まるため一年九社の紹介で今年五月まで足かけ四年をかけて紹介した。

問屋会会員の中でも事業内容に違いがあるため公平を図る必要上、当初は紹介紙面を一段十文字四十一行四段とした。その後、平成九年九月からは「愛板」紙面の改革で一段十三文字三十七行三段となり第三面で紹介した。

掲載するにあたり問屋さんから会社案内の資料をいただいたり会社の概要を簡潔書きでいただき整理して会社概要を掲載した。

書き出しの会社の発祥や会社の経緯については素人記者

の私が調査したりいろいろな方面からその会社についてお聞きしたりして紹介した。早くから資料をいただきながら書き出しがうまくまとまらず締切まで書きず夜なかなか眠ることもできないこともあった。原稿を書き終えてFAXで当事会社に送り社長に目を通していただき承諾を得てから毎月二十六日前後の編集委員会に提出、印刷会社のゲラ刷りのあと校正を経て翌月十五日の発行となる。

紙面に制約があるため、どの会社も十分に紹介できなかった事はこの紙面でお詫びしたい。しかし、愛知県亜鉛鉄板問屋会会員会社二十六社の全問屋さんの協力があつたためとても感謝している。

問屋会会社がどのようにして問屋になって会社を設立していったかを紹介した。

鍛冶屋から金物屋になり問屋になったり、ブリキ屋や板金工作所から問屋に変革した会社も何社かある。その問屋さんも最近鋼材屋に变身する会社もできたり事業を多角経営に広げている会社もある。

近年、年間住宅着工戸数も減少していることから鉄鋼二次製品の売り上げに占める割合のびていないとお聞きする。重量のある鋼材を扱っていた方がより多くの売り上げが得られるからだろうか。

鉄鋼二次製品以外では情報通信の部門を新設したり、防水工事部門を開設している会社もある。また、成型加工も屋根材や長尺外壁材以外に自社開発のシーリングを使用しないパネル工法を考案、施工も行っている会社もある。

いまやホームセンターや住宅展示場があちこちに出来、一般の人も住宅についての知識を私たちよりよく勉強している。パブルの頃に新築した住宅もリフォームの時期を迎えていて外壁や雨樋を新しくする住宅が目立っている。問屋さんも市場ニーズにあった商品をいち早く取り扱い板金業界へ供給してほしい。

私たちが板金店が新築住宅の板金工事を請け負う時、占める割合は少し前までは総金額の五割と言われていたが最近の五割と言われている。今後とも良き相談相手であり良き理解者でお付き合いをお願いしたい。

広報委員 鷲見 収

新製品

「ワンダ・セラ」の勉強会

西尾支新青年部

西尾支部は6月9日、午後6時半、平坂の西尾勤労会館2階で青年部の主催、富士商店共催で松下電工のナショナル「ワンダ・セラ」の勉強会を行った。参加者は青年部員と親組合の有志の26名。富士商店さんが用意してくれた弁当を食べながら、松下電工さんによる建築業界の現状や傾向についての講演と、松下電工の新商品の説明を行なった。

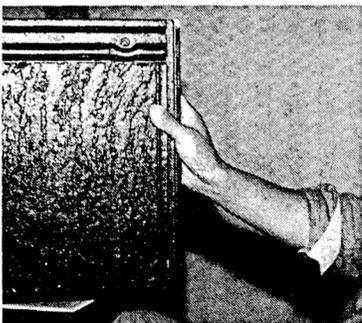
講演では、住宅着工数がいまだ少ない事、ハウスメーカーのシェアが増大している事。住宅を建てるには多くの職種の職人がかかわるが、今後は幾つかの職種を兼ねる職人が必要とされている。それは職種を兼任する事で業者が少なくなり、工期が安定する事。雨漏りした場合責任が屋根屋か板金屋か、両方兼任していれば責任がはつきりするなど兼任のメリットがあるとの事。これはアメリカの施工方法がそうで、段取りが良くなる事で工費節約になるそうだが、多くの職種をこなすには、施工が簡単になるとか、職人の修業期間が長くなるのではないかと思つた。

商品説明ではサイジング、種、カラーベスト等屋根商品、新しい高級商品の説明。ワンダ・セラは厚み13ミリの平板瓦とカラーベストの中間と言うか、形は平板瓦でカラーベストと同じ葺き方の商品である。

西尾 大橋



▶商品説明をする
松下電工 牧野六ツ己氏



▶新製品「ワンダ・セラ」

▼▼県板事務局夏期休暇▲▲

日頃は、組合事業にご協力を賜り有り難うございます。県板事務局は、8月12日(木)～8月16日(月)まで休ませていただきますので宜敷くお願い致します。

◎連絡事項は FAX 052-732-11733

支部だより

全板大会に参加 及び支部総会

今年の全板大会は隣県の岐阜なので、毎年四月の支部総会を今回は全板大会と同日にし、我々津島支部は支部コーラスとして参加させて頂いた。当日は、前日からの雨もあがり朝から和やかな五月晴れとなった。また平日とあって、参加者は十一名、朝九時に支部長の会社に集合、車二台で出発。約一時間程で岐阜市内を通り抜け長良川に出ると、対岸に会場のメモリアルセンターのドームと、隣接する球場や競技場が目にはいつてきた。会場に着くと既に屋内駐車場は、地元や他県車で満車に近い状態だった。

駐車場を出てドーム手前には各メーカーの展示、販売が賑わっており、工具や機械の説明を聞き回っている参加者で場所狭しと通路が埋めつくされていた。中には缶ビール片手に値段交渉する人もあれば腕を組み真剣に買うべきか悩んでいる人もいた。私も各メーカーの資料パンフレット等を手に見学したが、ハサミでは、何万円もするものがあれば、数種類まとめて

何千円と値打ち物があり、高い額を出して大事に使うか、安い物を使い回すか、人それぞれの性格の違いがでていたようだ。不況のせいもやはり安い物の方が盛況だったようだ。近年では、サイディングにかかわる商品が増え、屋根にしても古い屋根をはがさず手間がかからないよう、その上から葺せる施工方法が目についたように思えた。その後一旦集合し、会場の外に出て昼食をとった後再び会場にもどり各々が値段交渉や見学をし、三時頃に会場を後にした。帰りの車中は疲れや、陽気のせいも運転者には申し訳ないがほとんどの人の目がとじていたようだ。

その後支部総会会場に入り、ここから、仕事等で大会に欠席した組員二人が加わり、総会が始まった。まず前年度の支部会計報告、役員選任の件の後、新役員による乾杯で酒宴が始まった。やはり話の内容は大会の事が中心となり次回横濱大会も本年度の親睦旅行を繰り越して来年度の全板大会にあわせて参加するかなどいろいろな話題で盛りあがり、最後は津島支部並びに板金業界の発展を願って万歳三唱で本年度支部総会を終えた。

津島 猪飼

東三支部 地引網大会

毎年の事ながら、これやらないと新时期にならないのが恒例となりました「地引網大会」本年は役員改正で七月になりましたが組合活動の四大事業（総会、新年会、旅行、家族会）の一つ。組合員の家族同伴で楽しめるのはこの会のみ、大勢の方々が楽しみにされている。年一回の催しが盛り上がりがないわけがないのに水をさした雨。小生は現着八時「今日は網はでんでや、まあ一本やれ」"プシュー"残念会じゃガンパライ、飲む

の言い訳のたくさんあること、少々雨漏りのするテントにあちこち輪ができ、朝飯とも昼飯ともいえない時間に焼き肉、焼きそば、アルコール、胃腸が少し驚いたかな……

午前十時頃には雨も上がり青年部はお子さま相手にゲームで盛り上げてくれました。調理係りの奥様、事務局は汗だく雨だくで大変でした。本当にご苦労様でした。来年は晴れた日になりますように祈念しつつ六月二十日(日)小雨後曇り、出席者約百五十

6月各支部の動き

昭和田支部	8日	支部会	14名
熱田南支部	5日	青年部会合	
19日	定例会		
中支部	5日	常会・食事会	12名
13日	理事会		
尾張板金連合会		ホーリング・工場見学について	
一宮支部	16日	定例役員会	17名
春日井支部	8日	定例会	15名
20日	支部ゴルフコンペ		
23日	役員会		4名
津島支部	5日	定例会	6名
岩倉支部	12日	月例会・会費等集金	4名
江南支部	15日	月例役員会	5名
西三板金連合会	16日	四役会議	8名
碧南支部	23日	青年部勉強会	11名
刈谷支部	7日	講習会(サイディング及びダクト)	10名
西尾支部	9日	青年部勉強会	26名
豊田支部	15日	役員会	17名
28日	青年部ホーリング大会		31名
知多支部	3日	献血活動	35名
東三支部	3日	定例会	28名
4日	東板会ゴルフ大会		20名
5日	青年部ホーリング大会		31名
11日	青年部定例会		11名
20日	地引網大会		150名
28日	三役会		6名



東三 吉田

▲参加者のみなさん

人、渥美郡田原町谷の口海岸より。



編集後記

総代会も終り、平成十一年度の愛知県板組合事業を担当する各委員会は新年度の活動に入る態勢を整えつつある。すでに保証委員会・技研委員会は窯業系外壁材技術講習の準備に取り掛かっている。

これに先立ち、三役会を開き事務局から提出された前期の活動状況と成果、委員の出欠記録と新年度の各委員会体制を検討した。各委員会にはそれぞれの目的と性格があり広報委員会の年間十一回開催をはじめ、行政とタイアップして行う事業にまともな技能委員会、俱板の方向性を握る総務委員会、組合員の健康と福利を司る厚生委員会、など年間、三回から四回開かれていくが一部の委員会に停滞が見られる。これには責任者の委員会活動の意味と意欲不足が有ると思われる。また委員の出欠に付いて、どの委員会にも先期の二年間一度も出席していない委員もあり、俱板委員会の委員としての「委囁状」と各ブロックの推薦が有るだけに、責任感、使命感を疑われそう。

六月二十五日(金)雨
三四〇号 編集会議
委員 9名 出席
午後五時半終了(S)